



## 2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 タツモ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6266 URL <https://www.tazmo.co.jp/ja/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 亀山 重夫

TEL 086-239-5000

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	14,264	20.1	1,644	242.3	1,620	296.8	1,199	378.1
2019年12月期第3四半期	11,879	6.3	480	45.0	408	51.9	250	61.8

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,139百万円 (794.2%) 2019年12月期第3四半期 127百万円 (79.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	89.52	
2019年12月期第3四半期	18.70	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	25,870	11,081	42.2	824.94
2019年12月期	25,785	10,337	39.5	757.95

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 10,913百万円 2019年12月期 10,175百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		9.00	9.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,292	11.4	1,844	93.9	1,823	100.1	1,349	85.8	100.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年11月9日)公表いたしました「2020年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	13,508,300 株	2019年12月期	13,508,300 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	278,285 株	2019年12月期	83,294 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	13,402,060 株	2019年12月期3Q	13,419,966 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2～3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	10
(受注状況) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルスの感染拡大の影響により経済活動が急速に減速し、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体・液晶業界におきましては、スマートフォン関連の需要の減少が見られましたが、一方において、サーバーや5G（次世代移動通信）向けなどの電子部品の需要の拡大を見込んだ設備投資は堅調に推移いたしました。

このような状況のなか当社グループは、中長期的な成長に向けて、出張等に制限のある中で顧客ニーズに対応した装置の開発や生産活動を維持してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は142億64百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益16億44百万円（前年同期比242.3%増）、経常利益16億20百万円（前年同期比296.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11億99百万円（前年同期比378.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①プロセス機器事業

半導体装置部門につきましては、半導体メーカーの設備投資が堅調であり、利益率の高い半導体製造装置の検収が早まったため、売上高は30億79百万円（前年同期比62.2%増）となりました。

搬送装置部門につきましては、納期や価格は厳しい状況で、売上高は36億51百万円（前年同期比12.2%減）となりました。

洗浄装置部門につきましては、昨年からの豊富な受注残高があり、国内メーカーで洗浄装置の検収が前倒しでされたため、売上高は19億79百万円（前年同期比131.8%増）となりました。

コーター部門につきましては、海外の顧客で大型装置の検収が予定よりも早まったため、売上高は23億71百万円（前年同期比53.3%増）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は110億81百万円（前年同期比31.0%増）、営業利益15億36百万円（前年同期比290.3%増）となりました。

#### ②金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、スマートフォン関連の需要低迷の影響はありましたが、コスト削減効果が大きく、売上高は10億45百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益27百万円（前年同期比304.0%増）となりました。

#### ③表面処理用機器事業

表面処理用機器事業につきましては、車載用プリント基板メーカーの設備投資は比較的堅調でありましたが、新型コロナウイルスの影響で製造拠点の中国工場の稼働率が低下しました。また、受注にも影響があり、売上高は21億36百万円（前年同期比10.3%減）、営業利益82百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は189億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加しました。これは「受取手形及び売掛金」の減少があったものの「現金及び預金」と「たな卸資産」の増加したことが主な要因であります。有形固定資産は59億87百万円となり、前連結会計年度末より37百万円増加しました。これは「機械装置及び運搬具」の増加が主な要因であります。無形固定資産は1億54百万円となり、前連結会計年度末より8百万円減少しました。これは「のれん」の減少が主な要因であります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ85百万円増加し、258億70百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は117億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円の減少となりました。これは、「電子記録債務」は増加したものの「短期借入金」と「前受金」が減少したことが主な要因であります。固定負債は30億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億29百万円の減少となりました。これは、「長期借入金」の減少が主な要因であります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ6億59百万円減少し、147億88百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は110億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億44百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による「利益剰余金」の増加が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、売上高は前回公表の予想を下回る見込みとなりましたが、利益面では従来から取り組んでおります原価低減活動の効果等により、前回公表した予想数値を上回る見込みとなりました。詳細につきましては、本日(2020年11月9日)公表いたしました「2020年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において連結子会社であったアプリシアテクノロジー株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,534,902	3,300,031
受取手形及び売掛金	3,992,565	3,128,051
電子記録債権	1,634,659	1,317,669
たな卸資産	9,882,294	10,262,008
その他	812,331	936,869
流動資産合計	18,856,753	18,944,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,701,119	3,670,114
機械装置及び運搬具（純額）	554,147	581,769
土地	1,259,555	1,259,555
その他（純額）	435,463	476,323
有形固定資産合計	5,950,285	5,987,764
無形固定資産		
のれん	10,204	—
ソフトウェア	146,485	148,440
その他	5,822	5,741
無形固定資産合計	162,513	154,181
投資その他の資産		
投資有価証券	1,064	1,376
繰延税金資産	379,147	371,152
その他	435,596	411,360
投資その他の資産合計	815,808	783,889
固定資産合計	6,928,607	6,925,835
資産合計	25,785,360	25,870,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,672,324	1,401,443
電子記録債務	1,109,913	2,151,377
短期借入金	2,176,777	1,534,782
未払金	1,245,648	1,086,229
未払法人税等	102,635	360,429
前受金	5,009,685	4,651,759
賞与引当金	127,921	252,821
製品保証引当金	236,697	223,177
株式給付引当金	6,955	3,993
その他	125,512	118,777
流動負債合計	11,814,070	11,784,792
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	2,541,886	2,003,144
株式給付引当金	184,483	161,065
役員退職慰労引当金	14,811	13,218
役員株式給付引当金	53,829	63,860
退職給付に係る負債	185,615	51,658
資産除去債務	127,244	127,909
その他	225,954	283,143
固定負債合計	3,633,824	3,003,999
負債合計	15,447,894	14,788,791
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,724,067	2,724,067
資本剰余金	2,645,988	2,645,988
利益剰余金	4,999,264	6,077,406
自己株式	△184,119	△456,768
株主資本合計	10,185,200	10,990,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109	331
為替換算調整勘定	△9,818	△77,117
その他の包括利益累計額合計	△9,708	△76,785
非支配株主持分	161,973	167,766
純資産合計	10,337,465	11,081,674
負債純資産合計	25,785,360	25,870,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,879,855	14,264,119
売上原価	8,903,105	10,137,494
売上総利益	2,976,749	4,126,625
販売費及び一般管理費	2,496,230	2,482,022
営業利益	480,519	1,644,603
営業外収益		
受取利息	5,262	3,328
補助金収入	25,878	19,008
その他	19,233	15,254
営業外収益合計	50,374	37,591
営業外費用		
支払利息	39,436	27,967
為替差損	71,857	30,128
その他	11,169	3,418
営業外費用合計	122,463	61,513
経常利益	408,430	1,620,680
特別利益		
固定資産売却益	9,999	—
特別利益合計	9,999	—
税金等調整前四半期純利益	418,430	1,620,680
法人税等	164,917	409,201
四半期純利益	253,512	1,211,479
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,585	11,776
親会社株主に帰属する四半期純利益	250,927	1,199,702



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	253,512	1,211,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	221
為替換算調整勘定	△126,115	△72,055
その他の包括利益合計	△126,061	△71,833
四半期包括利益	127,451	1,139,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,954	1,132,624
非支配株主に係る四半期包括利益	497	7,020

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」及び「役員株式給付信託(BBT)」制度の追加信託の拠出で、第3四半期連結累計期間において株式を追加取得したため、自己株式が283,800千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は456,768千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による会計上の見積りについて)

今後の新型コロナウイルス感染症の拡大については、その収束時期等を正確に予測することが困難な状況であります。第3四半期連結累計期間までは、その影響は限定的であり、当期中は同程度の影響が継続するとの仮定のもと、会計上の見積りに重要な影響はないものとして会計処理しております。なお、新型コロナウイルス感染症の急拡大や長期化するなど上記仮定に変化が生じた場合には、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業	表面処理用機 器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,458,537	1,040,147	2,381,170	11,879,855	—	11,879,855
セグメント間の内部売上 高又は振替高	138,710	53,508	23,985	216,204	△216,204	—
計	8,597,247	1,093,656	2,405,155	12,096,059	△216,204	11,879,855
セグメント利益	393,704	6,719	87,612	488,036	△7,516	480,519

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業	表面処理用機 器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	11,081,867	1,045,444	2,136,808	14,264,119	—	14,264,119
セグメント間の内部売上 高又は振替高	108,697	104,018	5,442	218,158	△218,158	—
計	11,190,565	1,149,462	2,142,250	14,482,278	△218,158	14,264,119
セグメント利益	1,536,594	27,144	82,048	1,645,786	△1,183	1,644,603

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 補足情報

(受注状況)

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

1. 受注高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) (千円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業	11,246,990	13,963,644	124.2
半導体装置	2,706,710	2,349,019	86.8
搬送装置	4,484,008	4,083,606	91.1
洗浄装置	1,820,417	2,403,550	132.0
コーター	2,235,854	5,127,468	229.3
金型・樹脂成形事業	1,004,643	969,743	96.5
表面処理用機器事業	3,839,529	2,659,814	69.3
合計	16,091,163	17,593,203	109.3

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 受注残高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) (千円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業	12,676,372	14,097,598	111.2
半導体装置	2,408,161	1,593,897	66.2
搬送装置	2,491,014	2,211,537	88.8
洗浄装置	3,228,852	3,740,177	115.8
コーター	4,548,344	6,551,984	144.1
金型・樹脂成形事業	173,894	126,995	73.0
表面処理用機器事業	3,666,158	2,350,601	64.1
合計	16,516,425	16,575,195	100.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。